

## 広島県立総合体育館指定管理者業務の仕様書（抜粋）

## 第2 利用受付等に関する業務の基準

## 1 利用調整等

## (1) 早期内定

ア 大規模スポーツ大会等（令和7年度以降）は、会場の早期確保の必要があることから、大アリーナをメイン会場として専用利用する場合に限り、早期内定を行うこと。

イ 早期内定については、あらかじめ県の承認を得て定める「早期内定基準」を策定し、これに基づき実施すること。なお、毎年度継続的に行われているアマチュアスポーツ大会（専用利用）については、事前に関係団体と調整すること。

## 《現行の早期内定基準》

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本的要件 | <p>本県開催・招致に当たっては、1年以上前（原則として2年前を限度とする。）から会場の確保が必要であり、かつ、次のいずれの要件にも該当する大規模イベント等であること。</p> <p>① 本県開催について、当該団体の全国組織の理事会等において決定又は内定される見込みである。</p> <p>② 利用期日及び利用施設等の事業計画（概要）ができている。</p> <p>③ 次の事情などから、当館以外の類似施設では、開催が困難である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会規模及びイベント等の内容（特に、施設設備の関係）</li> <li>・分科会場、宿泊施設及び交通の利便性の確保</li> </ul>                                                                                                                                |
| 規模等要件 | <p>次のいずれかに該当する大規模イベント等であること。</p> <p>① 規模が全国規模以上であり、かつ、参加人数及び施設利用計画（利用日数・施設）が、次のように予定されているものであること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数（観客数を含む。）が、概ね延べ3,000人以上見込まれている。</li> <li>・利用期間が、準備・撤去を含めて3日間以上である。</li> <li>・利用施設が大アリーナを含めて2施設以上（会議室を含む。）である。</li> </ul> <p>② 県又は県が構成員となっている実行委員会等が主催・共催する事業で、全県規模以上の大規模イベント等であること。</p> <p>③ プロスポーツ、ショー、コンサート等興行的なものについては、1公演の観客数が概ね6,000人以上が見込まれるとともに、利用日数が準備・撤去を含めて3日間以上であること。</p> <p>④ その他、広島県が特別に認めるものであること。</p> |

## ウ 有料興行日数の制限

アマチュアスポーツの利用を確保するため、大アリーナ、小アリーナの開館日数に占める有料興行（コンサート、ショー等）日数の割合の上限は、原則、次表のとおりとする。

## 《開館日数に占める有料興行日数の割合》

|       |      |
|-------|------|
| 大アリーナ | 10 % |
| 小アリーナ | 2 %  |

※有料興行とは、「スポーツ以外に利用する場合において、入場料有料の場合」の利用区分をいう。

有料興行日数とは、有料興行の開催の日数をいう。（準備・撤去のための日数は除く。）

## エ 広島ドラゴンフライズの利用調整

B. LEAGUE が2026-27シーズンからリーグを再編することを受けて、広島ドラゴンフライズに、暫定的に大アリーナをホームアリーナとして利用させる方針とした。

このため、対象シーズンのリーグ戦の日程調整を行う。

オ 早期内定は、あくまでも専用利用の予約決定であり、利用申込の受付期間到来後には、利用申込書を提出させ、利用許可を行うこと。

## (2) 年間利用調整

ア 次年度の年間利用調整については、前年度の12月10日までに利用希望調査（早期内定した日を除く）を行い、利用調整後、1月末までに利用希望団体に内定を通知すること。

〔令和4年度の利用希望調査送付先：約100団体〕

イ 利用調整に当たっては、原則、次の大会等を優先し調整を行うこと。

①アマチュアスポーツの大規模大会

②県又は公益団体が主催する大会、イベント

ウ 本内定は、あくまでも専用利用の予約決定であり、利用申込の受付期間到来後には、利用申込書を提出させ、利用許可を行うこと。